

救急車を上手に使いましょう

～救急車 必要なのはどんなとき？～



近年、救急車の出動件数・搬送人員数はともに増えており、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。

また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

市民の皆様にも上手に救急車を利用していただくため、パンフレットを作成しました。急な病気やけがのとき、救急車を呼ぶのか、自分で病院を受診するのか迷うことはありませんか？

このパンフレットを読んで参考にして下さい。

救急車や救急医療は限りある資源です。みんなで上手に利用しましょう。

南但消防本部

《参考・資料提供》 総務省消防庁

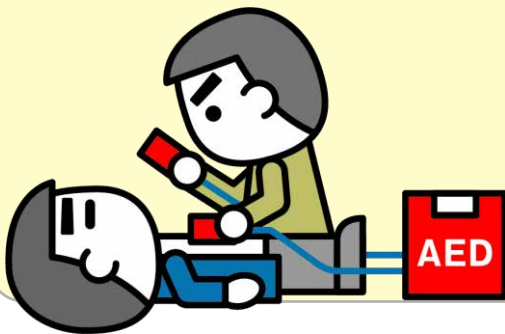
救急通報のポイント

救急車を呼ぶときの番号は「**119番**」です。

救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。
応急手当が必要な場合は、消防本部から電話で指示します。

救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。
いざというときに、大切な方を救うためにも、**正しい応急手当**を身につけておきましょう。

AEDを誰かに
持ってきて
もらってください



平均約10分
(平成25年中)
南但消防本部管内



消防本部では**応急手当の講習会**を行っています。
詳しくは各消防署にお問い合わせください。

朝来署 電話 079-672-0119
養父署 電話 079-662-0119

応急手当をしている人以外にも
人手がある場合は、
救急車の来そうなところまで案内に出ると
到着が早くなります。



救急車を呼んだら、**こんな物を用意しておく**と便利です。

- ・保険証や診察券
- ・お金
- ・靴
- ・普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



- (乳幼児の場合)
- ・母子健康手帳
 - ・紙おむつ
 - ・ほ乳瓶
 - ・タオル



救急車が来たら、**こんなことを伝えて下さい。**

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- ・行った応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院や医院、
普段飲んでいる薬、医師の指示等)

持病は ●●●
かかりつけ病院は
▲▲▲病院
普段飲んでいる薬は
■ ■ ■

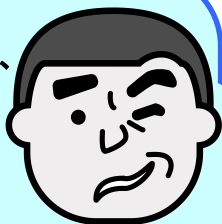
* 持病、かかりつけの病院
や医院などは、日頃からメモにまとめておくと救急病院での診察がスムーズになります。

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性あります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

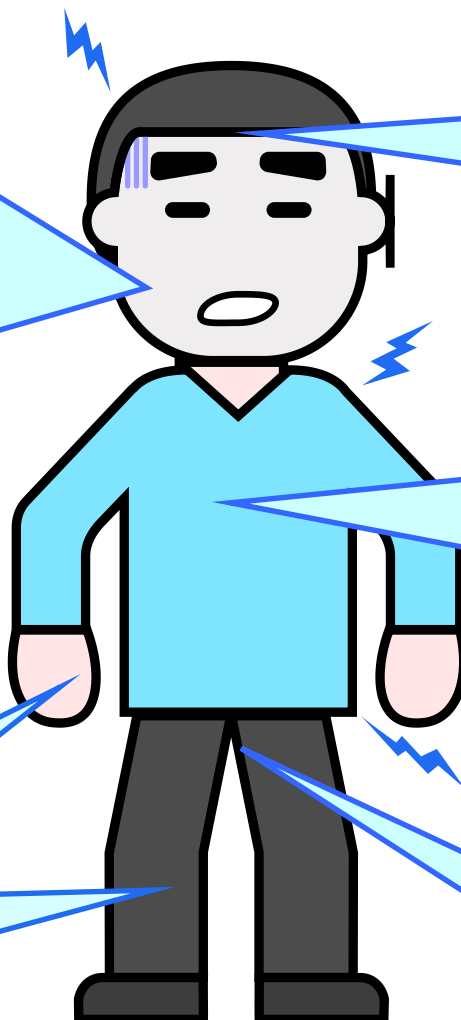
- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある



意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど



吐き気

冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

ためらわず救急車を呼んでほしい症状 : 小児 (15歳未満)

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性がります。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い



頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

手足

- 手足が硬直している



意識の障害

- 意識がない(返事がない) 又はおかしい (もうろうとしている)



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故にあった (強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

判断に迷ったときは、医療相談窓口に

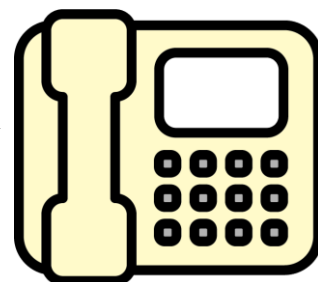
兵庫県小児救急医療電話相談

#8000 平日・土曜日 18時～24時 日曜日・祝日 9時～24時

ダイヤル回線、IP電話の方は**078-731-8899**（ははきゅうきゅう）

あさご健康医療電話相談（朝来市在住の方が利用可能）

電話番号は、朝来市地域医療・健康課まで問い合わせてください。



休日・救急対応医療機関

南但休日診療所 日曜・盆・年末年始・12月から3月の間の祝日

079-672-5269 受付時間 8:30～11:30, 13:00～16:00

救急対応医療機関 ※必ず、電話で確認のうえ受診して下さい。

八鹿病院 **079-662-5555**

朝来医療センター **079-672-3999**

豊岡病院 **0796-22-6111**

